

京都洛北 秋の夕景 京都の散歩道 賀茂川散策 2023.10.18.夕

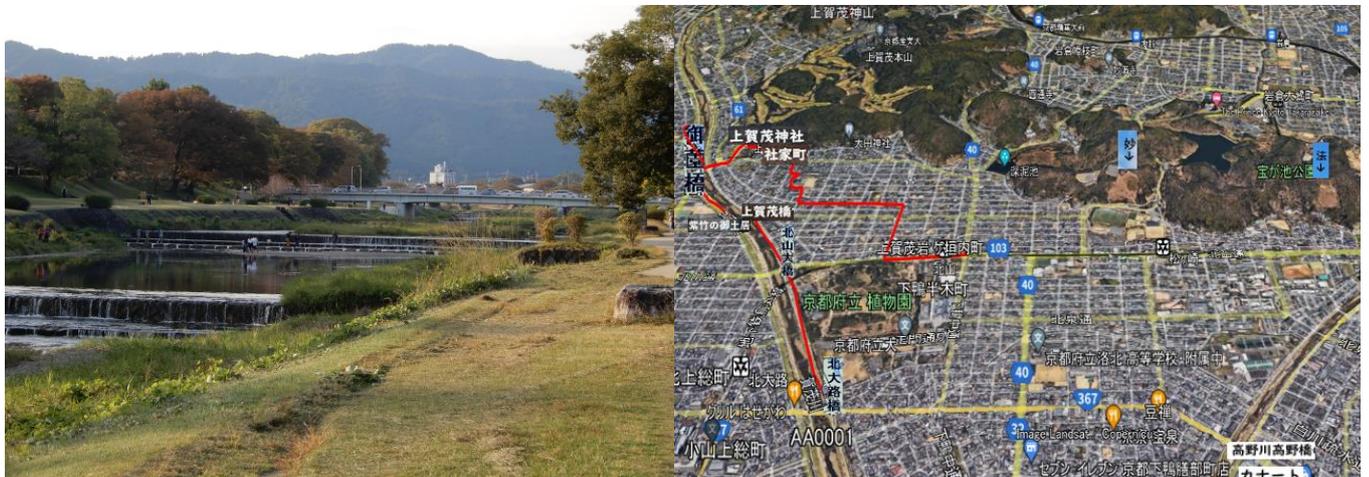
加茂街道に沿って賀茂川河川敷を上賀茂へ



京都西山から東山比叡山を背に木津川南の田園で 2023.10.18. 京都府八幡市男山山裾で



2023 深まりゆく秋 10 月半ば 京都の街中に残る古い町家の冬支度を兼ねて京都へ
コロナの中で気になっていた京都府八幡男山に住む姉夫婦の元気な顔も見て、ほっと一息。
京都の家の冬支度も完了し、家内が出かけた後 遅い午後でしたが、ふと思いついて上賀茂への賀茂川散策に。
学生時代によく歩いた賀茂川河川敷を久しぶりに上賀茂神社まで散歩しました。
もう忘れかけていた上賀茂への河川敷の散歩道 子供たちの飛び石遊び・紫竹の御土居。夕日に照らされ浮かび上
がる上賀茂神社の真っ赤な鳥居と建物群。今も静かな上賀茂神社社家の町等々。みんな印象的でした



学生時代 柘野の里に住む従妹の家へ毎月通った道 ふと思いついての風来坊
短時間でしたが、なんとなく人恋しい秋の夕暮れ 上賀茂への賀茂川河川敷の散歩道。
久しぶり忘れかけていた上賀茂界隈の Walk になりました。
今も残る上賀茂神社の社家の町を眺めながら 2023.10.18.夕 Mutsu Nakanishi

【2023 深まりゆく秋へ】 京都洛北 秋の夕景 京都 賀茂川散策 2023.10.18.



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/walk20/R051|AkiKamogawa.mp4>



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/walk20/R051|AkiKamogawaweb.pdf>



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/walk20/R051|AkiKamogawaphoto.pdf>

【2023 深まりゆく秋へ】 【スライド動画: 2min30s】
京都 秋の夕景 京都 賀茂川 散策 2023.10.18.
加茂街道に沿って 北大路橋から上賀茂神社へ



いつも賀茂川土手から眺めるのは街の北東にそびえる比叡山ですが、
上加茂橋から東山の盟主 大文字山がくっきりと



2023 深まりゆく秋
10月半ば コロナの中で、気になっていた京都府の八幡にいる姉夫婦を訪ねがてら、
京都の町中 家の冬支度を兼ねて京都へ
姉の元気な顔もみられ、家の冬支度も済ませた夕方、ほっと一息。
家内が出かけた後 学生時代によく歩いた賀茂川河川敷を上賀茂神社まで散歩に。
夕暮れ 柘野堰堤魔ではゆけずでしたが、ゆっくりと夕暮れの上賀茂神社や社家町を散策。
夕暮れ時久しぶりに秋の上賀茂散策ができました。



京都西山から東山比叡山を背に木津川南の田園で 2023.10.18. 京都府八幡市男山山裾で



淀川 ↓

嵐山 ↓
愛宕山 ↓

左大文字 ↓

舟形 ↓

妙 ↓

法 ↓

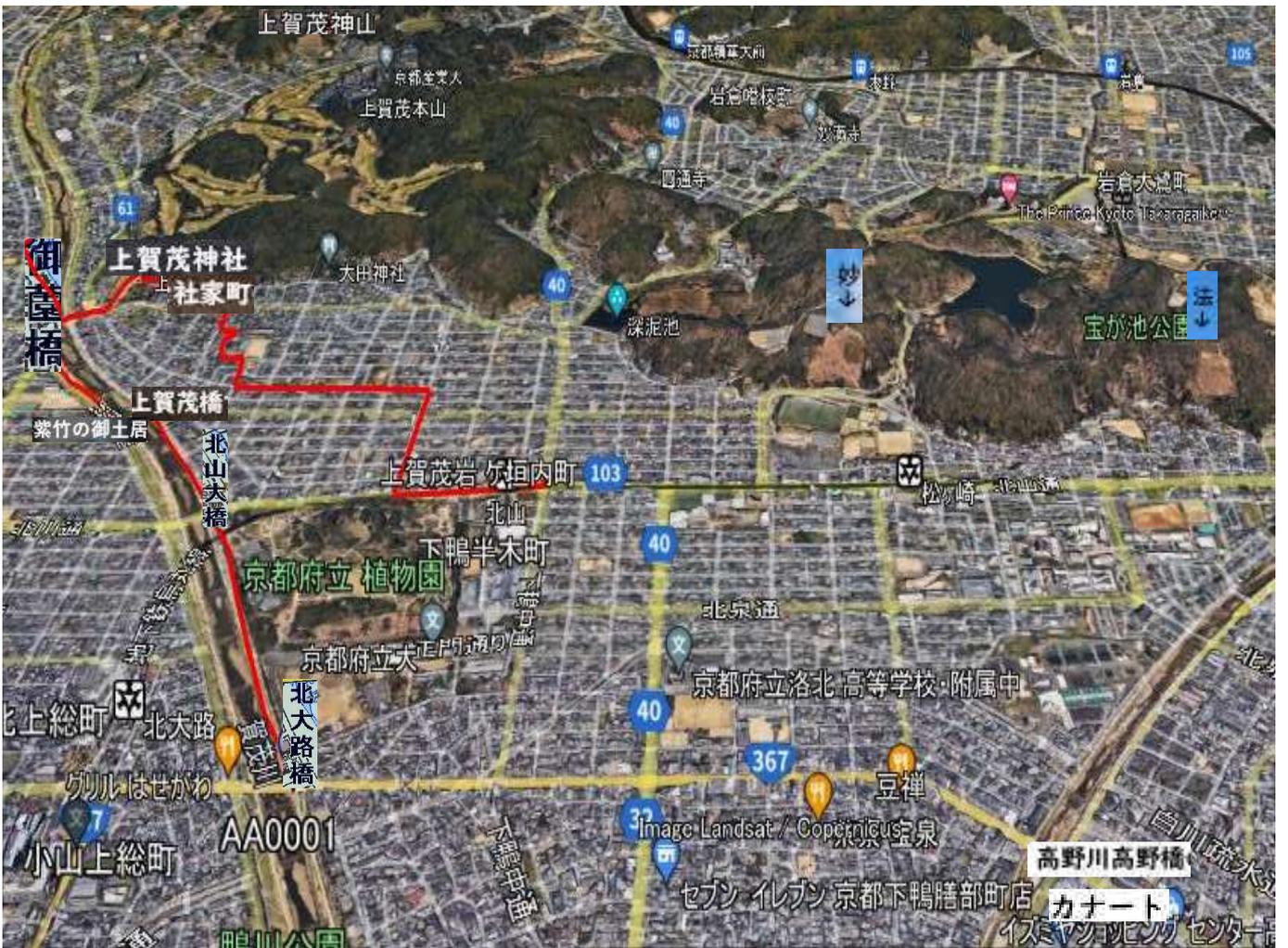


高野川高野橋の「カナート」の屋上駐車場からは ぐるりと京都一周 京都の街・街を取り囲む京都五山がくっきりと。そして 京都の町の象徴 愛宕山・比叡山・大文字山の美しい姿もくっきり。ふと頭に浮かんだ鴨川沿い北の上賀茂神社。久しぶりに京都賀茂川に沿って歩きたい。上加茂神社 出来れば上賀茂の柵野堰堤まで歩きたいと風来坊。秋の夕暮れ、残念ながら柵野堰堤までは行けませんでした、鴨川沿いの秋の夕景をゆったり楽しみました。

10月18日夕 京都 賀茂川の散歩道
加茂街道に沿って北へ 賀茂川河川敷を上賀茂神社へ
秋の夕暮れ時を楽しむ数多くの人がみられました



京都賀茂川 河川敷の散歩道 2023.10.18. 府立植物園横で





京都賀茂川 河川敷の散歩道 2023.10.18. 府立植物園横で



京都賀茂川 河川敷の散歩道 2023.10.18. 府立植物園横で



京都賀茂川 河川敷の散歩道 飛び石 なつかしいじゃんけん遊び 2023.10.18.



京都賀茂川 河川敷の散歩道 飛び石 なつかしいじゃんけん遊び 2023.10.18.



京都 賀茂川 飛び石でじゃんけん遊びをする子供たち 2023.10.18.夕 上賀茂で



すぐ北に見える上賀茂橋を西へ渡れば、上賀茂紫竹地区 かつてこの土手の下に
いとこ一家が住んでいた地区で、かつてこの土手を北へよく通ったところ
上賀茂橋の上からは賀茂川を前に東山山並の真ん中に座る大文字山の姿が見える
大文字山を眺める絶景ポイント 2023.10.18. 賀茂川上賀茂橋で



2023.10.18. 賀茂川上賀茂橋で
橋を西へ渡った角のすぐ南 バス停の手前に史跡「紫竹の御土居」の案内板が見えました。





史跡 紫竹の御土居 2023.10.18.夕

河川敷から土手の上へ上がって、上賀茂橋を西へ渡って紫竹地区へ
 その西南角 土手の上のバス停の手前に「御土居」の案内板
 紫竹長目町 なつかしい名前です
 土手から住宅の間を西へ 秀吉が造った土塁跡
 西の北野神社沿いの紙屋川沿いのお土居はよく知っていましたが、
 賀茂川土手にも京都の街を取り囲む土塁跡が残っているのを初めて知りました。
 もっとも 鴨川沿いに土塁跡が残っているのはこの「紫竹の御土居」だけだという。

御土居：目に見える巨大な「境界」

御土居とは豊臣秀吉が天下統一と同時にに行った京都改造の一環で、京都のまちを一周する全長約23kmの都市城壁（土塁+堀）。



平野御土居



大宮御土居

御土居は天下統一を成し遂げた豊臣秀吉が、長い戦乱で荒れ果てた京都の都市改造の一環として外敵の来襲に備える防壁と、鴨川の氾濫から市街を守る堤防として、天正19年(1591)に多くの経費と労力を費やして築いた土塁です。

台形の土塁と堀(堀の一部は川、池、沼を利用)からなり、その延長は22.5キロメートルに及び、東は鴨川、北は鷹ヶ峯、西は紙屋川、南は九条あたりにそって築られました。土塁の内側を洛中、外側を洛外と呼び、要所には七口を設け、洛外との出入口としました。鞍馬口、丹波口などの地名はその名残です。

江戸時代になると天下太平の世が続き、外敵の脅威もなく御土居は次第に無用の存在となり、また市街地が洛外に広がるにつれ堤防の役割を果たしていたものなどを除いて次々と取り壊され、北辺を中心に僅かに名をとどめるのみとなりました。

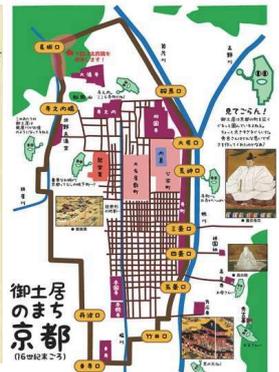
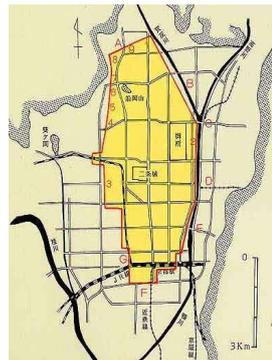
昭和5年(1930)、市内に残る御土居のうち8箇所が、京都の沿革を知るうえに、また、広く我が国における都市の発達をたどる重要な遺構として「史跡」に指定、昭和40年(1965)にさらに1箇所(北野天満宮境内)が追加され、現在9箇所が指定地となっています。

また、これら指定地以外では、北区の大宮交通公園内や中京区の北野中学校内でも、部分的に御土居が残っています

京都市情報館HP「お土居」等より <https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000005643.html>

史跡御土居、京の七口の位置図

- | | | |
|-----|-----------------|--------|
| 紫竹 | : 北区紫竹上長目町・堀川町 | A. 長坂口 |
| 盧山寺 | : 上京区寺町小路上の北之辺町 | B. 鞍馬口 |
| 西ノ京 | : 中京区西ノ京原町 | C. 大原口 |
| 北野 | : 上京区馬喰町 | D. 粟田口 |
| 平野 | : 北区平野鳥居前町 | E. 伏見口 |
| 紫野 | : 北区紫野西土居町 | F. 鳥羽口 |
| 鷹ヶ峯 | : 北区旧土居町3 | G. 丹波口 |
| 鷹ヶ峯 | : 北区旧土居町2 | |
| 大宮 | : 北区大宮土居町 | |





夕暮れ時の上賀茂神社 正面 一の鳥居前 2023.10.18.夕



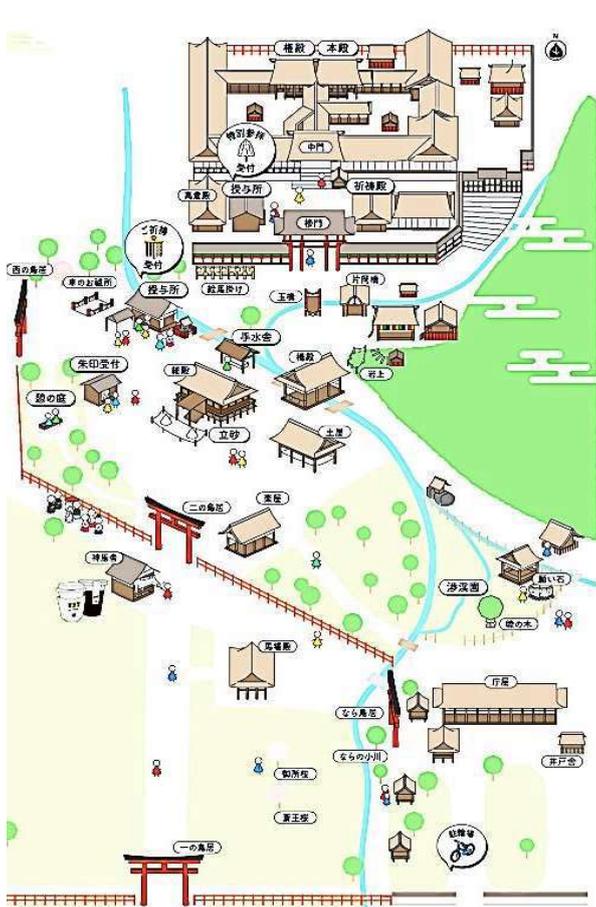
上賀茂神社正面 一の鳥居 左:北の境内側から 右:南正面から 2023.10.18.夕



夕暮れ時の上賀茂神社正面 社殿へ続く参道には七五三の旗がずらりと2023.10.18.



夕暮れ時 観光客ももういず静かな参道 二の鳥居へ 2023.10.18.夕
 この参道は流鏝馬の時 ウマが駆け抜ける道
 また、写真でしか頭に残っていない上賀茂神社の「神山」は
 本殿のあるこの森の向こう やつぱり ながめられないなあ・・・



上賀茂神社 境内案内図

日暮れまじかですが、久しぶりに立砂前から楼門・中門そして本殿前へ 本場に清々しい気分



※【重文】=重要文化財



楼門



二ノ鳥居



細殿左横の奥に楼門



細殿



上賀茂神社 社殿前 立て砂
 背後約1キロ北 神様が降りた神山を表しているという。
 上賀茂神社の象徴 一番眺めたかった景色



上賀茂神社境内 楼門前



中門の奥 権殿・本殿



新宮神社前



川尾社前



手水舎



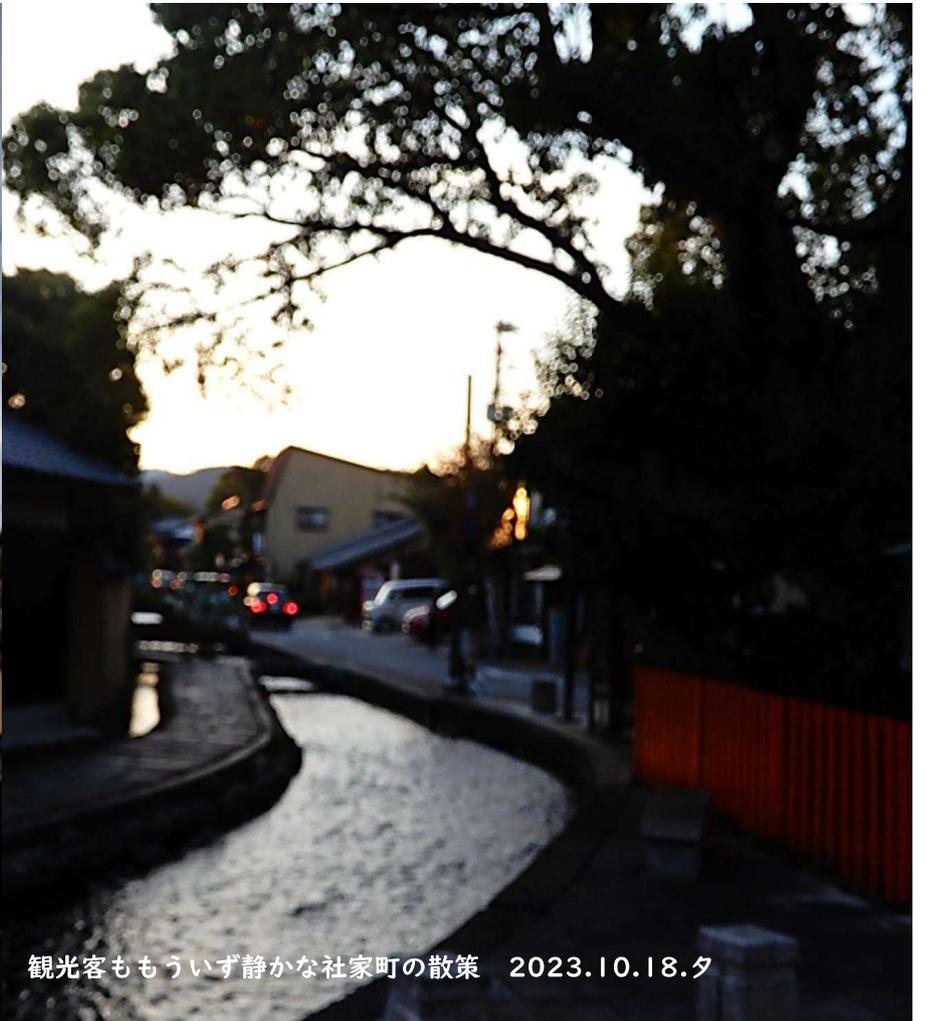
もう薄暗くなりかけた境内 楼門をでて、東へ本殿の北へ回り込んで新宮神社前
小川に沿って南へ戻り、川尾社・片岡橋を経て、小川にかかる手水舎に出て
もとの細殿・立砂前へ戻る



夕日を眺めながら、もう何年ぶりだろうか…神社を抜けて西の社家町へ



今も残る上賀茂神社の社家の町 観光客ももういず静かな社家町の散策 2023.10.18.夕



今も残る上賀茂神社の社家の町 観光客ももういず静かな社家町の散策 2023.10.18.夕

京都 秋の夕景 京都 賀茂川 散策 2023.10.18.
加茂街道に沿って 北大路橋から上賀茂神社へ

学生時代 毎月柘野の里に住む従妹の家へ通った道
ふと思いついての風来坊 短時間でしたが、
なんとなく人恋しい秋の夕暮れ 上賀茂への賀茂川河川敷の散歩道
久しぶり 忘れかけていた上賀茂界隈のWalkになりました。

次回は是非 上加茂神社のすぐ北の柘野堰堤や写真でしか頭に残っていない上賀茂
神社「神山」にも出かけようと。
今も残る上賀茂神社の社家の町を眺めながら
2023.10.18.夕 Mutsu Nakanishi

カメラの調子悪くピンボケPhotoばかり お許しください。
BGMは倉本裕基の CD Albumより「美しき日々」

【参考】柘野堰堤 今回訪れられませんでしたでしたが、興味津々です
柘野地域にある鴨川上流部に建設された重力式の砂防堰堤。

昔夏になるとこの堰堤の下の底をさらえて、子供たちのための小さな
プールが作られ、小学生たちの歓声が上がっていたかすかな記憶がある

柘野砂防堰堤、柘野ダム、鴨川の滝とも
呼ばれている。
鴨川の洪水等に伴う土石流や地滑りを防ぎ、
土砂・水量の安定に資している。
堰堤は幅約96メートル、高さ約7メートル、
計画貯砂量は15万立方メートルで、
石を組んだ外観が特徴的である。

農業用水を採取する井堰の機能も持ち、
この用水は上賀茂の田畑を経て、
上賀茂神社境内を流れる明神川に合流し、
水深がわずか2メートルしかなく、
堰堤内への立ち入りや飛び込み行為は
禁止されている。

インターネットの記載より
50数年前の記憶
今はこんな美しい姿になっているのだと。
上賀茂神社神山とともに
是非訪ねようと思っています。



京都洛北 秋の夕景 京都の散歩道 賀茂川散策 2023.10.18.夕

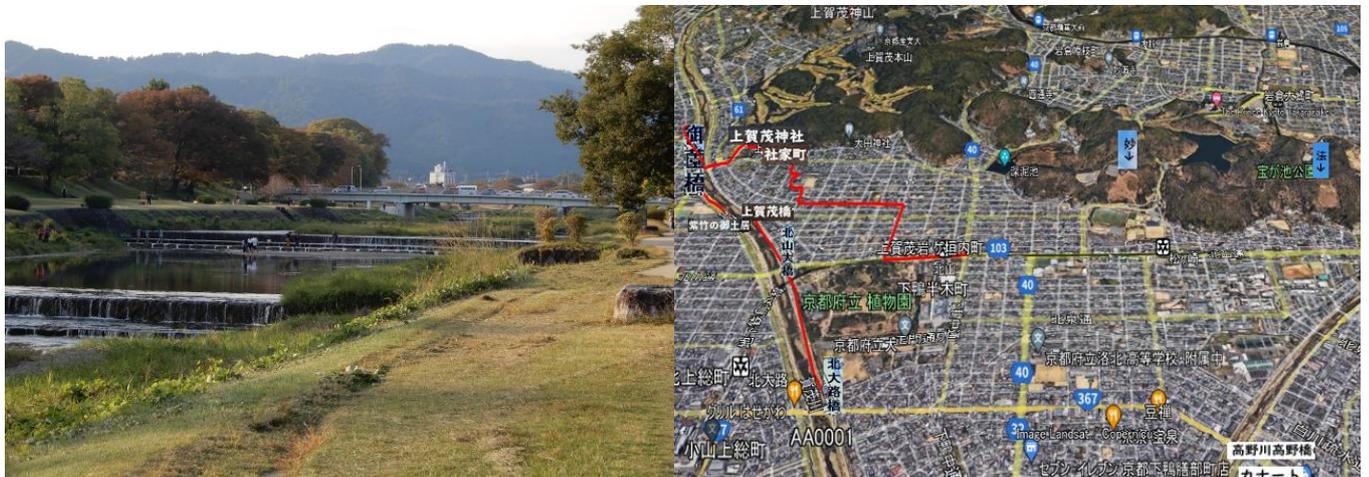
加茂街道に沿って賀茂川河川敷を上賀茂へ



京都西山から東山比叡山を背に木津川南の田園で 2023.10.18. 京都府八幡市男山山裾で



2023 深まりゆく秋 10 月半ば 京都の街中に残る古い町家の冬支度を兼ねて京都へ
コロナの中で気になっていた京都府八幡男山に住む姉夫婦の元気な顔も見て、ほっと一息。
京都の家の冬支度も完了し、家内が出かけた後 遅い午後でしたが、ふと思いついて上賀茂への賀茂川散策に。
学生時代によく歩いた賀茂川河川敷を久しぶりに上賀茂神社まで散歩しました。
もう忘れかけていた上賀茂への河川敷の散歩道 子供たちの飛び石遊び・紫竹の御土居。夕日に照らされ浮かび上
がる上賀茂神社の真っ赤な鳥居と建物群。今も静かな上賀茂神社社家の町等々。みんな印象的でした



学生時代 柘野の里に住む従妹の家へ毎月通った道 ふと思いついての風来坊
短時間でしたが、なんとなく人恋しい秋の夕暮れ 上賀茂への賀茂川河川敷の散歩道。
久しぶり忘れかけていた上賀茂界隈の Walk になりました。
今も残る上賀茂神社の社家の町を眺めながら 2023.10.18.夕 Mutsu Nakanishi

【2023 深まりゆく秋へ】 京都洛北 秋の夕景 京都 賀茂川散策 2023.10.18.



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/walk20/R051|AkiKamogawa.mp4>



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/walk20/R051|AkiKamogawaweb.pdf>



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/walk20/R051|AkiKamogawaphoto.pdf>